

みずほCustomer Desk Report 2020/09/17 号(As of 2020/09/16)

市場營業部 為替營業第二子一ム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.40	1.1841	124.77	1.2885	0.7295
SYD-NY High	105.42	1.1883	124.96	1.3008	0.7345
SYD-NY Low	104.80	1.1788	123.85	1.2876	0.7279
NY 5:00 PM	104.96	1.1817	123.99	1.2966	0.7306
NY DOW	28,032.38	36.78	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	11,050.47	▲ 139.86	日本10年債	0.020	1.00bp
S&P	3,385.49	▲ 15.71	米国2年債	0.138	▲ 0.20bp
日経平均	23,475.53	20.64	米国5年債	0.283	1.12bp
TOPIX	1,644.35	3.51	米国10年債	0.698	1.80bp
シカゴ日経先物	23,360.00	▲ 20.00	独10年債	-0.4820	0.05bp
ロンドンFT	6,078.48	▲ 27.06	英10年債	0.2105	▲ 0.70bp
DAX	13,255.37	37.70	豪10年債	0.9150	2.60bp
ハンセン指数	24,725.63	▲ 7.13	USDJPY 1M Vol	5.95	0.10%
上海総合	3,283.92	▲ 11.76	USDJPY 3M Vol	8.38	0.05%
NY金	1,970.50	4.30	USDJPY 6M Vol	7.93	0.08%
WTI	40.16	1.88	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	149.736	1.98	EURJPY 3M Vol	8.40	0.06%
ドルインデックス	93.21	0.16	EURJPY 6M Vol	8.25	0.02%

東京	東京時間のドル円は105.40レベルでオープン。この日は売り買いが交錯しながらも、前日の流れを引き継ぐ形で円高地合いの展開に。ユーロやポンドも売られる地合いとなり、クロス円での円高進行も相まって、ドル円は一時約3週間ぶりの安値105.25まで下落。その後は投機筋やポジション調整のフロー等が入り、ドル円は結局105.34レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場ドル円は下落。105.34レベルにてオープン。本日米国時間に行われる米連邦公開市場委員会(FOMC)前のポジション調整売りに値を下げ105.07レベルにてNYへ渡った。
ニューヨーク	本日のFOMCはハ派な内容になり、今回経済予測と金利見通し(SEP)で2023年分が初めて出されるものの、2023年も利上げはないとの見方が強まる中、海外市場のドル円は上値を重くし、105.00まで下落し、105.07レベルでNYオープン。朝方は米8月小売売上高が予想を下回り、前回分も下方修正されたことから104.81まで下落する。その後は米保険福祉省(HHS)がすべての米国民が4月までにワクチン接種を受けられる可能性との見通しを発表したが、ドル円の反応は限定的となった。その後はFOMC結果発表を控え調整のドル買い戻しに105.03まで戻す。FOMCのSEPでは大方の予想通り2023年まで利上げ無しとの見通しが明らかになり、市場はドル売りで反応しドル円は104.80まで下落するが、2023年に関しては4人は利上げを見込んでいることや、来年、再来年のGDP見通しが下方修正されたものの、今年は上方修正され、インフレ見通は今年、来年、再来年すべて上方修正れたことからドル買いが優勢となり、105.07まで戻す。パウエル議長の記者会見では財政による追加の景気支援が必要になることに言及し、Fedの追加の行動に対する期待が後退し、ドル買いが優勢となり105.14まで戻す。それ以外はハ派なコメントに終始したことからドル円は105円ちょうどを挟んだ推移が続き、104.96レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場で強まったドル売りに1.1883まで戻し、1.1868レベルでNYオープン。朝方は堅調な株式市場が上げ幅を縮小する動きにユーロ円の売りが強まり、ドル買いも加わったことからユーロドルは1.1809まで反落する。その後FOMCのSEP発表を受け1.1855まで戻す局面もあったものの、米金利が上昇し、テック株を中心に株式市場が軟化する展開にドル買い戻しが強まり、1.1788まで反落し、1.1817レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:鈴木・木村 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

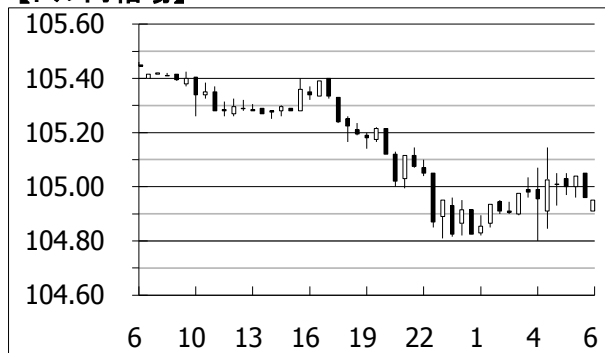
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月16日	08:50	日 貿易収支	8月 ¥248.3b	-¥15.0b
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	8月 -0.4%/0.2%	-0.6%/0.0%
	21:30	米 小売売上高・速報(前月比/前月比)	8月 0.6%/0.7%	1.0%/1.0%
9月17日	03:00	米 FOMC政策金利	16-Sep 0.0%-0.25%	0.0%-0.25%
	03:30	米 パウエルFRB議長会見	回復軌道に戻ったが先行き不透明	

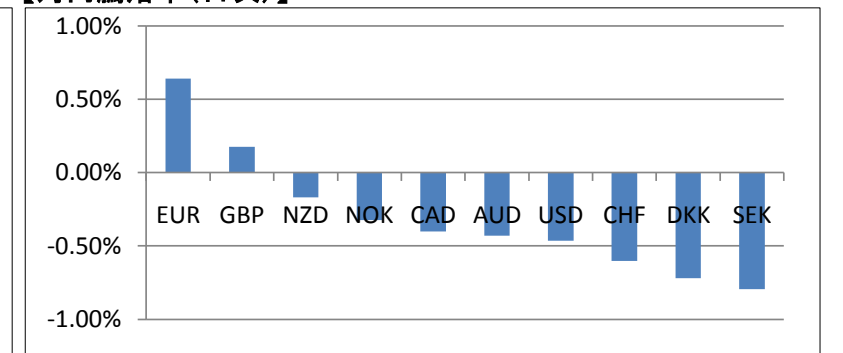
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回	
9月17日	10:30	豪	雇用者数変化/失業率	8月	-35.0k/7.7%	114.7k/7.5%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・確報	8月	-0.4%/-0.2%	-0.4%/-0.2%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	12-Sep	850k	884k
	21:30	米	住宅着工件数/建設許可件数	8月	1483k/1512k	1496k/1483k
	21:30	米	フィラデルフィア連銀景況指数	9月	15.0	17.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.60-105.40	1.1760-1.1860	123.80-124.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は前日の流れを引き継ぎ下落基調。
ロンドン時間に105.00円まで下落したドル/円は、FOMCの2023年までの低金利継続の発言を背景にさらに値を下げ、一時104.80円をつける。インフレ見通しの上方修正等ポジティブ要素もあったもののクロス円でのドル買いは継続せず、105.00円近辺での値動きに留まり、104.96円でクローズ。
本日のドル/円は105.00円を挟んだ値動きを予想する。104円台は約2ヶ月半ぶりの水準であり、一定程度の買い注文は想定されるが、さらなる円高進行への警戒感も強く、売り買いが交錯する展開となるのではないかと見られる。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル		7	14